



# 修学旅行

12/7(日) お台場散策  
 12/8(月)・9(火) スキー研修  
 12/10(水) 東京ディズニーリゾート  
 終日別行動  
 12/11(木) クラス別選択コース研修

平成二十六年度  
 修学旅行を終えて

二学年主任  
 内藤 寿晃

十二月七日(日)〜十二月十一日(木)、四泊五日の日程で修学旅行が行われました。一日目、羽田空港へ到着後、直ぐにお台場へ向かいました。その車窓から見る高層ビルや車の多さに生徒たちは目を丸くしていました。二日目、三日目は銀世界のゲレンデでのスキー。最初は思うようにいかず、立っているのがやっとでした。しかし、次第に斜面をゆつくりと滑ることができるようになりました。最終日には、スピードに乗ってターンをするまで上達した生徒もいました。スキー体験だけでなく、雪山の壮大な自然も体験することができました。四日目、楽しみにしていたディズニーリゾートで、様々なアトラクションに乗ったり、お土産を買ったりし、夢の国を存分に楽しみました。最終日はクラス毎に大都市東京を見学しました。大きな怪我や病気が無く、五日間を終えることができました。帯同された看護師さんから、「先日、阿蘇に旅行に行ってきた。素晴らしい所でした。生徒さんも素直で楽しんでいる様子が見られました。生徒たちは、様々な場面で規律、公衆道徳を守って行動することができました。改めて、阿蘇中央高校生の良さを感じた五日間でした。この経験を活かし、阿蘇中央高校を牽引する学年になって欲しいと思います。」



普通科2年2組 (お台場にて)



普通科2年1組 (スキー場にて)



総合ビジネス科2年 (お台場にて)



東京ドリームアート遊園地



普通科2年3組 (浅草にて)



グリーン環境科2年 (お台場にて)



農業食品科2年 (浅草にて)



社会福祉科2年 (スキー場にて)

## 阿蘇中央高校

### 「携帯電話の使用におけるモラル向上といじめ根絶宣言」

阿蘇中央高校生徒会

【前文】 私たち阿蘇中央高校生は、携帯電話の使用におけるモラル向上と携帯電話によるいじめを「しない」・「見逃さない」・「許さない」を合言葉に、いじめのない環境づくりを目指し以下の3条をもって、阿蘇中央高校「携帯電話の使用におけるモラル向上といじめ根絶」をここに宣言します。

#### 第1条 携帯電話に束縛されない

- ①使用時間に制限を設け、それを守ります。
- ②「食事をしながら」「勉強をしながら」などの何かをしながらの携帯電話の使用をしません。
- ③勉学に支障のない携帯電話使用を心がけます。

#### 第2条 携帯電話に潜む危険性を自覚する

- ①インターネットは公共の場と同じであるという意識を持ちます。(公共の場であり、様々な人が閲覧できる意識を忘れません)
- ②無断の書きこみ・画像のアップロードなどの個人情報の流出をしません。

#### 第3条 いじめを「しない」・「見逃さない」・「許さない」

- ①携帯電話でのコミュニケーションでは感情は完全には伝わらないという意識を持ちます。
- ②SNS等での誹謗中傷はその人を傷つけ、いじめと同じという意識を持ちます。



私は、進路達成を登山に例えて話をすることがあります。「進路」という山の高さは、決して変わらない。頂上まで、地道に登っていきしかたない。一歩登ったかと思ったら、二歩引き返さなければならぬこともあったり、突然の嵐に見舞われ立往生させ

## 「進路別講演会」について

阿蘇校舎 進路指導専任 浦本 清隆

二月二十五日(水)に、二年生を対象として、「進路別講演会」を開催しました。「職業理解」という観点から、「生徒の進路に対する意識高揚を図り、これから取り組むべき課題を明確にする」ことを目的に、昨年度から実施している取り組みです。今年度は、「大学進学(文理別)」「就職」「看護」等、二十四分野について開講、それぞれ講師の先生方をお招きし、生徒は興味・関心のある二分野の講演会に参加しました。



# 進路別講演会

「進路目標の達成のためには、自分を高めること、また、そのための学習や資格取得のための努力をこつこつと積み重ねるしかありません。そして、目まぐるしく移り変わる世の中の動きに、自らの判断で身についておく必要があります。今回の講演会が、生徒の進路意識向上の一助となることを進路指導部として願っています。努力は必ず実ります！」